

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

形状、食感を制御したソフト食の製作技術の開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

研究開発代表者

川上 勝(山形大学 有機材料システムフロンティアセンター プロジェクト教員(准教授))

5. 評価結果

食感、味、香りの豊かなソフト食より、介護食や嚥下食に喜びを付与する未来を目指す本研究開発は、社会ニーズの高い提案であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、食材料物性と 3D 造形性能の関係から適切な造形条件を実験的に求めた点や、デュアルノズル式の造型機を開発し複雑な構造のソフト食を試作した点など顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、学理面の検討が不十分であると評価された。食感の数理モデルやシミュレータの構築や、食感の定量評価技術の確立など、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上